

## 横浜市中学校生徒英語弁論大会

平成18年8月24日

西公会堂

8月2日から4日にかけて行われた予選会。そして24日の本選会。毎年のことではありますが、夏季休業中に行われる横浜市中学校生徒英語弁論大会はいつも暑い中で行われます。確かに公会堂の中は冷房が効いて涼しいですが、生徒たちの演説はとても熱く、見ている方も熱い眼差しを注ぎ、まさに暑い中で熱い戦いが繰り広げられました。

さて、今年の生徒英語弁論大会であります。審査員の先生方のまたまた熱い議論が印象的でした。スピーチが終了したあとの審査員の先生方は、生徒一人ひとりのスピーチについてするどい論評を繰り広げていました。それほど甲乙つけがたいスピーチコンテストであったということではないでしょうか。毎年のことではありますが、審査員の先生方には頭の下がる思いでいっぱいです。

英語といえども、伝えたい、話したい、という根本的な話者の心理に変わりはありません。いいえ、伝えたいという気持ちがあれば言語手段が日本語であっても、英語であっても、他の言語であっても必ずや相手に伝わるはず。いつも思うのですが、英語弁論大会だからといって大上段に構える必要など全くないはず。むしろ、日本語よりも話しやすいかもしれません。自ら発信したいことをどのような論法で、どのような表現で、どのようなアプローチで表現するのか、どのような技術を駆使するのか。いずれにしても相手に伝えたいと素直に思えば、自然と表現方法は決まってくるのではないのでしょうか。ただ異なる点の一つ、言語が英語であるということだけです。そういう意味において、伝えたい気持ちが素直に伝わってきた生徒が多くいた、そんな今年の大会だったと思います。

ただ一つだけ気になることがありました。スピーカーの聞く態度についてです。自分の発表を最上のものにしたい、そのためには人の発表に対しても賛辞を与える態度が望まれるべきではないかと考えます。その意味において、聞く態度に問題があった生徒が数名いたことは残念です。



今年度の入賞者

順位	生徒名	タイトル	学校
第1位	大高 力也	<i>Communication</i>	新羽中学校
第2位	松永 杏	<i>Books are the Chamber of Secrets</i>	平戸中学校
第3位	田村 彩夏	<i>Don't be afraid</i>	仲尾台中学校
第4位	呂 文睿	<i>To be international people</i>	豊田中学校
第5位	加藤 李佳	<i>One Step Towards a Better World</i>	西金沢中学校

担当 松本中学校 赤峰 準